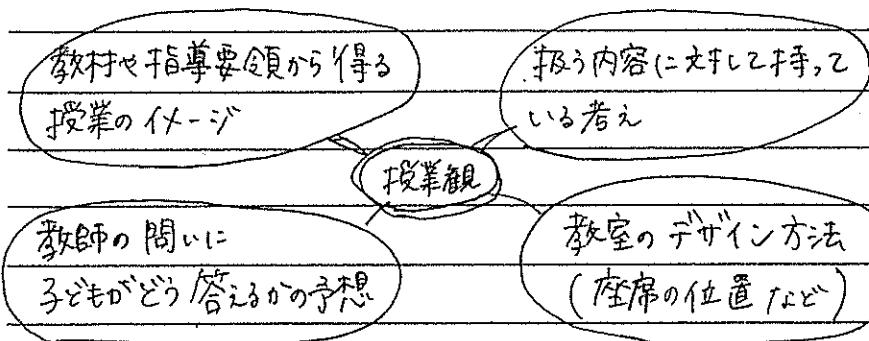


教師の授業観、どんなのがパターン
指導→変化の様々デザイン

| | | | | |
|------|----|---|----|---|
| 学籍番号 | 学年 | 3 | 氏名 | ・ |
|------|----|---|----|---|

教師の授業観について様々な考え方があると思って。



これらの他にも人によって考え方には異なると思う。

自分は英語の授業の方程式に興味があるの。

英語教師のもつ授業観について知ることができたら
学びになると思う。

| | | | | |
|------|----|---|----|--|
| 学籍番号 | 学年 | 3 | 氏名 | |
|------|----|---|----|--|

アラニ先生が始めに、「組織より人が、人より組織か」という話をしていて、最近は「誰が良い人がいいか」など、個人の力を重視するようになったと聞いて、確かに、それがもしかないと想いました。就職活動の宣伝などを見ても「イノベーションを起こせる人材」などと書かれていて、日本全体が個人を重視するようになってしまっている感じます。昔からある日本の「人より組織」という文化も必ずしも良いところばかりではなく、その組織がどんな組織かで成長にとって良くも悪くも働くと思います。

また、木村さんの自習の研究といつ施設が今まで"なかつたの"、面白いと思いました。学校からは少し離れるけど、どんな環境で勉強をするのかは、学校での勉強と無関係ではないと思うので、自習の環境が学校での学習にどのように影響するのか分かれば、先生もそれに合わせて授業の仕方を工夫できるのではないかと想いました。

学籍番号 学年 3 氏名

- 木村さんの自習の話について、木村さんが隊で学ぶ「姿勢」を生徒12組示して「なにが影響しているのかはしないだろうか。おそれ生徒12組間勉強した経験がないしかしたら、それによる達成感が影響しているかもしれません。
- 「教師同士が学び合う時、子どもたちも学び合うようになります」という方策には、子どもたちが誰と学び合うかが書かれていますため、学び合ふ相手は教師か子ども同士か、その他か、色々と考えを広げさせた。
おそらくほとんどの全ての人達が学び合うのだろう。
- 指導という言葉について、他の授業で「指導」の対義語は実験、であると言った。生徒の答えをデザインする教師は「指導」ではなく支援をしているからではない。

学籍番号 学年 3 氏名

「指導案」という表現は今まで抵抗を持っていたので、今日の話を聞いて、さうに思いやが強く見た。
教師は授業の中で何をすべきか。
こうすれば「よい」と「正解」が「いい」中で、子どもに「教える」より「学ばせる」? 「自分も学ぶ」という姿勢を持つことかが望ましいかも知れない。
ただ、実際に教壇に立って「指導」授業をするとなると、大人数の子どもを相手にどう上うまい字を書く場面をデザインできるか、想像すると莫佳いと感じた。

| | | | | | |
|------|--|----|---|----|--|
| 学籍番号 | | 学年 | 3 | 氏名 | |
|------|--|----|---|----|--|

最近は、アクティブラーニングという言葉が確かにたくさん使われますが、アクティブラーニング、狭義ではグループワークをしたからと言、乙、活潑な議論ができたからと言、乙、今までのところには限らないと聞きに集中構義の英語科教育への授業でも同じようなことをされたのを思い出しました。特に英語では、生徒が本当に英語を理解していきの方も疑ういい方、両談がより難しいのだと思ひます。

| | | | | | |
|------|--|----|---|----|-------|
| 学籍番号 | | 学年 | 3 | 氏名 | - - - |
|------|--|----|---|----|-------|

指導の本来の意味から授業と教師の関係を考えるのは面白かた。子どもが学び合う場、自由に話し合う場をデザインするために教師が自身の授業観を支えにして行なうことができ子のは、机の配置や黒板などの物理的工夫造りと、学びの手助けと補助をする教材の開発、子ども同士の関係性の理解と適切なフレーバー分け等が考られると思ひた。教師が子どもに与えていく影響は、意図したものに限らず、それに伴って生じた一見わがりづらいものもあり、その副次的影响を考えみたいと思う。

学籍番号 学年 3 氏名

指導、この學習の場もデジタル資源など、
良教師が授業をしていかなければなりません。
それが學習の場となる、といふことは、
十分ありますと思う。左の例は、
子供たちが、大人が真剣に勉強
している姿を見せるには有効かと思います。
あるいは、勉強といふものは、學習の
指導だけではなくて、自分一人でと
てあること」といふようなメッセージを
「自習の経験を通して伝える。
(個別化も34)
これは重要なのはかいが、
授業の可能性は無限大。
自分の可能性も無限大。